

無収縮グラウト材

デンカプラスチック TYPE-1

デンカプラスチック TYPE-1



Denka

無収縮グラウト材

デンカ プラスコン TYPE-1

デンカプラスコンTYPE-1は主に土木・建築構造物および機械類の据付け工事に用いられる無収縮グラウト材です。優れた流動性と無収縮性および強度発現性を有し、確実な荷重伝達を期待することができます。

特長

1 流動性

流動性に優れ、複雑な形状の空隙にも充填可能です。

2 無収縮性

無収縮性を有し、施工後の安定性を確保します。

3 強度発現性

高い強度発現性により、信頼性の高い施工が可能です。

4 品質と施工性

プレミックスタイプであるため、現場では所定量の水と練り混ぜるだけで高品質な無収縮グラウト材が得られます。また、ハンドミキサ等の機械で練り混ぜが可能で、モルタルポンプによる圧送も対応しています。



用途

- ・ 橋梁沓座、機械基礎、鉄骨ベース等据え付け工事
- ・ 逆巻・逆打ち工事
- ・ 鋼板巻立て工事
- ・ 建築耐震補強工事
増設壁、鉄骨ブレース



仕様

- ・ プレミックスタイプ
- ・ 結合材：細骨材 (重量比) 1 : 1
- ・ 1袋当たりの重量 25kg
- ・ 1袋当たりの水量範囲 4.2~4.9kg
- ・ 練上り温度範囲 5~35℃※
※別途施主規定がある際はそれに準じてください。



標準配合

区分	コンシステンシー J14漏斗流下値 (秒)	水材料比 (%)	単位量 (kg)		備考
			プレタスコン	水	
1m ³	8±2	18	1875	338	1m ³ 当たり75袋
1袋			25	4.5	練上り量 約13.3ℓ

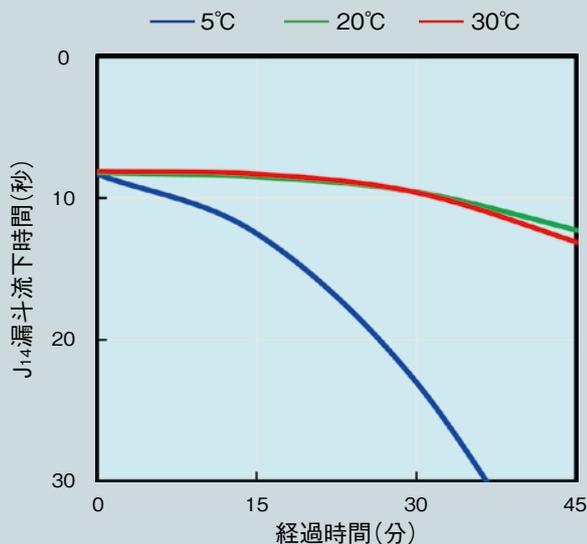
※環境温度により規定とするコンシステンシーが得られるための水量が若干変動します。使用前に試験練りを行い、水量を確認してください。

物性例

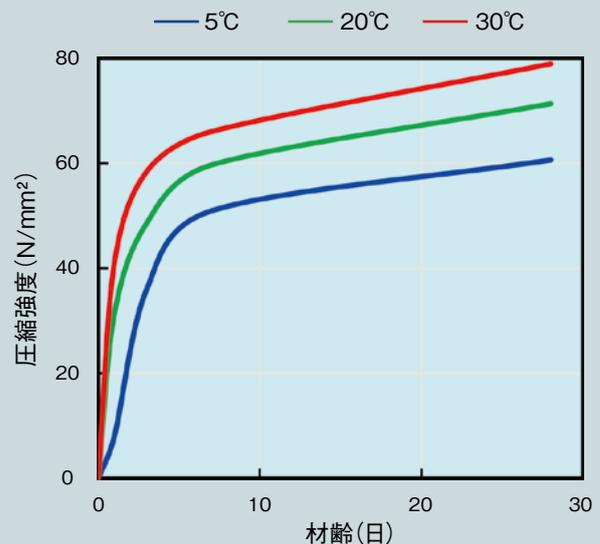
項目	環境温度(°C)			
	5	20	30	
①塩化物量(kg/m ³)	—	0.09	—	
練混ぜ水量(kg/袋)	4.75	4.50	4.38	
②コンシステンシー	J ₁₄ 漏斗流下時間(秒)	8.4	8.2	8.1
③ブリーディング率(%)		0	0	0
④凝結時間(時間)	始発	9時間55分	4時間55分	4時間40分
	終結	12時間40分	6時間15分	5時間20分
⑤膨張収縮率(%)	7日	—	0.46	—
⑥圧縮強度(N/mm ²)*	3日	35.1	48.6	58.4
	28日	60.6	71.3	78.9
⑦付着強度(N/mm ²)	28日	—	9.2	—

- ・試験方法は、①が JIS R 5202 に準じ、②～⑦が NEXCO 試験法 312 に準じる。
- ・※5°C のデータは、20°C で練り上げたものを 5°C で養生した結果である。
- ・練混ぜ水量は、気温・練混ぜ水温・材料温度などの影響により、若干変動する。

コンシステンシーの経時変化(測定例)



圧縮強度(測定例)



使用上の注意

練混ぜ

- 練混ぜ水は清浄な水を使用してください(油、塩類、有機物などを含まないもの)。
- 使用水量は、材料温度・環境温度・ミキサの形式・練り量などの条件によって変動します。試験練りを実施し、各条件に応じた適正な水量を確認してください。
- 700rpm以上の回転数を有するハンドミキサまたはグラウトミキサを使用し、1分～2分間*練混ぜを実施してください。※別途施工主の規定がある際はそれに準じてください。
- ハンドミキサの回転翼はステンレス製や鉄製を使用し、アルミ製は異常膨張の原因となるため使用しないでください。
- 指定の水量以外では使用しないでください。

注入・充填

- 注入の前にコンクリート表面の清掃を行い、プライマーの塗布または水打ちを実施してください。
- 自重圧工法またはポンプ施工により片側から注入し、流出側からモルタルがあふれ出るまで連続的に注入してください。
- モルタルは高アルカリ性ですので、アルカリ性の環境条件で腐食するもの(アルミサッシ等)には、直接モルタルが触れるような施工は避けてください。

養生

- 施工後はモルタル表面を養生マット等で覆って、直射日光や風の影響を避け、湿っている状態に保持してください。
- 冬場等で外気温が低い場合(5°C以下)には保温養生を施してください。
- 圧縮強度測定用の型枠は、内側にハクリ剤を塗付し、モルタル流込み後は、ラップ等で表面の乾燥を防いでください。

製品の保管上の注意

- 開封後はその日のうちに使用してください。
- 直射日光、雨水の影響を受けない乾燥した室内に貯蔵保管してください。

本社
東京都中央区日本橋室町2-1-1 (日本橋三井タワー) 〒103-8338
電話03-5290-5363

大阪支店
大阪市北区角田町8-1 (大阪梅田ツインタワーズ・ノース) 〒530-0017
電話06-7176-7456

名古屋支店
名古屋市中村区名駅南1-24-20 (名古屋三井ビルディング新館) 〒450-0003
電話052-571-4535

福岡支店
福岡市博多区冷泉町5-35 (福岡祇園第一生命ビル) 〒812-0039
電話092-263-0841

札幌支店
札幌市中央区南2条西2-18-1 (NBF札幌南二条ビル) 〒060-0062
電話011-281-2301

デンカイノベーションセンター
東京都町田市旭町3-5-1 〒194-8560
電話042-721-3660

青海工場 青海インフラ技術研究部
新潟県糸魚川市大字青海2209 〒949-0393
電話025-562-6306



データ等記載内容についてのご注意

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保証をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性については、貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・製品安全データシートで確認してください。
- これらの資料は、当社の担当部門にご用意してありますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。



警告



- 水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こします。
- 目に入れないこと。入った場合は、直ちによく洗浄し、専門医の診断を受けること。●皮膚に付けないこと。
- 鼻や口に入れないこと。●保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋を着用すること。●子供に触れさせないこと。